

中学校では、複数の小学校出身の子が出会ったり、部活動への参加により新たな人間関係が生まれたりします。そのため人間関係がもう一度作り直されたり大きく変化したりします。



1 あなたのお子さんの人との付き合い方は変化してきているのでしょうか。みつめてみましょう。

(1) あなたのお子さんが小学生だったころの人との付き合い方には、どんな特徴がありましたか。

- () 多くの友達と付き合う子だった
- () 少数の子と付き合う子だった
- () 一人で過ごすことが多い子だった

(2) 子どもたちの人間関係はどのようになっているでしょう。

たとえば、次のようなことはおこっていますか。

小学校の時は毎日のように遊んでいた友達がいたのに、中学校に入ってから、ぱったり遊ばなくなりました。新しい友達はできたのだろうか。学校のことも話してくれないから子どものことがまるで見えなくなってきた。

友達に誘われて遊びに行ったりするけど、帰ってくるとなんだかきげんが悪いみたい。今の友達関係に満足していなかったり、困ったりしているところがあるのかなあ。

このごろ友達何人かで遠くまで電車で出かけることが増えてきた。お金もたくさんつかうようになってきたし、暗くなっても帰ってこないこともある。どんな子と、どこで、どんなことをしてるんだろう。

「おたくの子、〇〇さんと付き合っているらしいね。」って言われてびっくり。異性に興味をもつようになってきたとは思ってたけど、まさかそんなこととは思ってなかった。これから、どんなふうに接したらいいんだろう。

(3) 今のあなたのお子さんの様子から、子どもをめぐる友達関係・人間関係を見つめましょう。

- () 小学校時代と比べて、友達関係が変化しているようだ
- () クラス、部活動以外の付き合いもあるようだ
- () 自分の気持ちを話せる友達はいるようだ
- () 友達関係で無理をしたり、本心を出せないでいたりするようだ
- () 親に自分の気持ちや心配事が気軽に話せているようだ
- () 親以外にも自分の気持ちを話せる大人がいるようだ

2 友達との付き合い方について、気がかりなこと、心配していること、あるいは、ほほえましく感じていること、感心したことなど、子どもにまつわる情報を伝え合いましょう。

この年齢の子どもたちの間では、周りからどう見られるかを気にして、必要以上に仲良くふるまって見せたり、友達関係を保つために、本心とはうらはらに特定の子を避けたりするなど、複雑な関係ができていたりすることもあります。また、友達関係で困っていてもその相談ができないままになっていることもあります。

しかし、子どもはいろんなところでいろんな方から見ていただいています。子どもの新しい人間関係を見守るためには、そういった方々からの情報が有効であり、親の間にも新しい人間関係を築いていく必要があります。今回、語り合った方との出会いも一つのきっかけとし、また、学校とも積極的に情報交換をしながら子どもを囲むネットワークを広げましょう。